

ロッテバイオリジクスが アジアのバイオテクノロジー企業と ADC 製造契約を締結 ～米国シラキュースでの ADC 製造施設、本格稼働開始～

株式会社ロッテホールディングス（東京都新宿区、代表取締役社長 CEO：玉塚元一）は、日韓ロッテグループの共同出資により設立されたロッテバイオリジクス（大韓民国ソウル市、CEO：James Park）が、4 月 24 日にアジアに拠点を置くバイオテクノロジー企業との間で臨床段階の抗体薬物複合体（以下、ADC）候補薬の製造契約を締結したことをお知らせいたします。

ロッテバイオリジクスは「Delivering therapies that enable a healthier world / 健康な社会を実現する治療法を提供する」という理念のもと、25 年 3 月にシラキュース・バイオキャンパスに ADC 施設を設立しました。ADC は抗体に薬物を結合させたバイオ医薬の一種で、がん細胞に直接抗がん剤を届けられるため、高い薬効、副作用の軽減、薬物投与量の減少といったメリットがあり、グローバルで開発が進んでおります。

今回の契約は、ADC 製造施設の稼働を実質的に開始する最初のステップとなります。今後、臨床開発から商業生産まで幅広いクライアントニーズに応えるために、より多くのステークホルダーと連携を図り、ADC 開発から製造までの包括的なワンストップサービスを更に強化していく予定です。

■ ロッテバイオリジクス CEO James Park コメント



今回の受注契約を契機に高品質な ADC を安定的に供給し、抗体医薬だけでなく ADC も製造可能な CDMO として、今後もバイオ産業の発展と、究極的には患者さまの生活の質向上という社会的責任を全うする企業になるよう最善を尽くします。またこの度営業担当を任命し、日本を中心としたアジアにおけるクライアント企業との連携を強化していく予定です。今後も積極的にグローバルな協力機会を模索してまいります。

James Park 略歴

カリフォルニア大学デビスキャンパス化学工学学士、コロンビア大学産業工学修士号を取得後、グローバル製薬会社のメルク、プリストル・マイヤーズ・スクイブ、サムスンバイオリジクスのグローバル営業センター長を経て、細胞・遺伝子治療剤専門企業ジーシーセルの代表取締役を務め、2025 年 1 月にロッテバイオリジクスの代表取締役社長に就任。約 35 年間、グローバルで有数の製薬会社の戦略および事業開発に携わってきた知見を活かし、ロッテバイオリジクスのグローバル CDMO 事業の強化とビジネスネットワークの多角化に努めています。

■米ニューヨーク州シラキウス・バイオキャンパスの ADC 設備について

本契約締結の 1 か月前、2025 年 3 月に米ニューヨーク州シラキウス・バイオキャンパスの ADC 設備が完成しました。今回完成した ADC 製造施設は、次のような特徴を有する cGMP に準拠した最新設備で、お客さまのニーズに柔軟に対応することが可能です。

- 最大 1,000 リットル規模のコンジュゲーションリアクターを含む統合型の生産・精製ライン
- 抗体の前処理から薬物の自動無菌充填に至るまでのプロセス全体をサポートする、シングルユースシステムを導入
- 社内品質管理（QC）テストや特性評価を含む高度な分析サービスも提供

■ロッテバイオリジクス：会社概要

ロッテバイオリジクスは、より健康的な世界を可能にする良質なバイオ医薬品を提供するため、2022 年に韓国と日本の共同出資で韓国のソウルに設立されたグローバル CDMO（医薬品開発製造受託）企業です。同年にブリストル・マイヤーズ・スクイブ社の米国シラキウスにあるバイオ医薬品製造拠点を買収し、バイオ医薬品 CDMO に参入しました。また、ロッテバイオリジクスは、バイオ医薬品業界で世界トップ 10 の CDMO になることを目指し、米国シラキウス工場での ADC 製造能力強化の他、韓国・仁川市松島にメガプラント建設も予定しております。日本の大手製薬会社とも多岐にわたる協議や、バイオ医薬業界の有力企業との連携・投資を進めております。

■ロッテホールディングス会社概要

中核事業である菓子・アイス領域をはじめとし、プロ野球球団の運営、不動産、ファイナンス、CVC、ホテル、ヘルスケアなどの事業を展開しています。今後は食品事業のさらなるイノベーションに加え、日本と韓国の事業シーズを掛け合わせたビジネス創出に向けて、果敢にチャレンジしてまいります。

ヘルスケア・バイオ医薬の領域ではロッテバイオリジクスへの日韓ロッテの共同出資の他、ロッテホールディングス内に CVC を立ち上げ、最先端の情報を迅速に取り入れ、新たな技術へのアクセスを促進し、抗体医薬品や抗体薬物複合体（ADC）を含む先端バイオ医薬および次世代モダリティ（核酸医薬、再生医療、遺伝子治療等）領域の有望なスタートアップ企業への投資を推進しています。

ロッテグループは 1948 年に日本（東京）でチューインガムの製造・販売を開始。現在は、日本と韓国に本社機能を持ち、世界約 30 の国と地域で食品、流通、小売り、バイオ医薬、ヘルスケア、データセンター、ホテル/リゾート、エンターテインメント、建設などの領域でビジネスを展開しています。

わたしたちは「Lifetime Value Creator」をグループ統一のビジョンとして掲げ、人々のライフサイクルのすべてにおいて価値を提供し続けてまいります。